

第10回水景フォトコンテスト テーマ「夏の水景」2016年 審査結果発表

例年夏の水景フォトコンテストには多くのご応募をいただきますが2016年の夏の水景フォトコンテストにこれまでないほど沢山の写真をお送りいただきました。ありがとうございます。
スマートフォンなどで撮られたであろう写真も多くあり、撮影することが多くの人にとって日常的になっていることを感じました。

最優秀賞 「激しい打ち水」 日高猛さん撮影



最優秀賞は日高猛さんの「激しい打ち水」です。銀座で行われた打ち水大作戦とのことですが、水を撮る、とはっきりと絵作りの焦点を絞っているところが成功の秘訣のようです。シャッタースピードを調整しているのでしょうか。

目に見える姿とは違う水の表情を描写しています。水の形、勢い、その連なりが単純に見ていて面白く、また目を凝らせば色とりどりの浴衣や銀座の街並みも背景としてしっかり写っています。見ていて楽しく、飽きない、写真の特性が生きている一枚です。

準優秀賞 「気持ちいーね」 福島和昭さん撮影



準優秀賞は福島和昭さんの「気持ちいーね」です。画面の構成がとても上手です。真ん中にいる男の子の目にぴったりとピントが合っています。夢中になっている表情がよく写っています。やはり、やわらかくぼかして撮った写真でもどこかにピントがぴったりと合っていないとぼんやりとした印象になってしまいます。となりに女の子がいるのもモチーフが真ん中に寄りすぎるいわゆる日の丸写真の構図にならず良いバランスです。さらに手前に花があるのをぼかして入れているところも本当に上手です。赤、黄色、緑と色の散らばり方のバランスもとれていて自然に見えて技をつくした一枚です。

佳作「都会の水景」 今西唯夫さん撮影



今西唯夫さんの「都会の水景」はミスト噴水の前に少年が立ちつくしている光景が印象的です。ミスト噴水がこれほど濃くなることはまれですから風のない湿度の高い日だったのかもしれませんが。そのようなタイミングに魅力的な被写体を見つけてすかさずシャッターをきけるとするのは、なかなかの写真の腕です。この写真の場合はモノクロ写真であることもイメージ作りにたいへん効果をなしています。

佳作「ヴィースバーデンの昼下がり」 槇野博史さん撮影



槇野博史さんの「ヴィースバーデンの昼下がり」は噴水があり、そこで人が憩っている風景を自然にとらえていて、見ているほうもリラックスできるような一枚です。芝に腰を下ろして、噴水の音を聞きながら過ごす時間。なんとも贅沢です。

佳作「街角の噴水」 松井正さん撮影



松井正さんの「街角の噴水」は南仏、アルルの住宅街にある小さな公園の噴水だそうです。日常生活の近くに噴水があり、子どもたちがそこで楽しみ、恋人が憩う、噴水のある理想郷のような風景です。

今回、選んだものはいずれもモチーフがはっきりしていて、画質や色の調整など仕上げまでこだわったものです。すこしの調整で仕上がりが変わってきます。水のある素敵な風景を見せていただき、ありがとうございました。

(フォトコンテスト係)